

先生各位

## パニック値報告についてのお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて当所では、これまでパニック値については当所報告基準（新・総合検査案内41ページ掲載または下記の表）に基づき、特にご指示がない場合にも、電話またはFAXにてご連絡させていただいております。

このたび、AST、ALT、LD、アミラーゼ、CKについても下記の表に基づき連絡させていただきます。

ただし、予め異常値が予知されている場合（疾患名が確定している場合等）、または検体の性状が溶血血清、乳び血清等で検査結果に影響するようなものである場合は、緊急報告の対象としないことがありますのでご了承ください。

### 記

●変更実施日 2010年8月2日（月）より実施

項目名	治療有効濃度	報告値の範囲 (中毒域濃度)	項目名	正常参考値	報告値の範囲
アスピリン	抗炎症作用として 150~300 μg/mL	400 μg/mL以上	白血球数	M 3900~9800 /μL F 3500~9100 /μL	1000以下, 25000以上
ジゴキシン	0.8~2.0ng/mL	2.5ng/mL以上	血液像	%	芽球 出現時
ジギトキシン	10~25ng/mL	35.0ng/mL以上	血色素量	M 13.0~17.0 g/dL F 11.6~15.6 g/dL	5 以下
ゲンタマイシン	5.0~10.0 μg/mL	12.0 μg/mL以上	血小板数	13.0~35.0 10 <sup>4</sup> /μL	3万以下, 100万以上
トブラマイシン	5.0~10.0 μg/mL	12.0 μg/mL以上	プロトロンビン時間 INR	0.9~1.1	3.0以上
アミカシン	20.0~25.0 μg/mL	35.0 μg/mL以上	グルコース(血糖) (空腹時)	60~109 mg/dL	50以下, 500以上
テオフィリン	10.0~20.0 μg/mL	25.0 μg/mL以上	総ビリルビン	0.2~1.2 mg/dL	12.0以上
プロカインアミド	4.0~8.0 μg/mL	16.0 μg/mL以上	ナトリウム	135~147 mEq/L	110以下, 170以上
プロプラノロール	50.0~100.0ng/mL	120ng/mL以上	カリウム	3.6~5.0 mEq/L	2.5以下, 6.5以上
リドカイン	1.5~5.0 μg/mL	6.0 μg/mL以上	カルシウム	8.2~10.2 mg/dL	7.5以下, 11.5以上
メトトレキサート	中毒域(大量投与時) 24時間後 10以上 48時間後 1以上 72時間後 0.1以上	48時間後 1.0 μmol/L以上	尿素窒素	8~20 mg/dL	80以上
エトサクシミド	40.0~100.0 μg/mL	120.0 μg/mL以上	ベビー 直接クームス	(-)	(+) の場合
フェニトイン	10.0~20.0 μg/mL	30.0 μg/mL以上	細菌培養同定	細菌検出せず	髄液・血液培養からの 菌検出
フェノバルビタール	15.0~40.0 μg/mL	60.0 μg/mL以上	AST(GOT)	9~38 IU/L	1000以上
ブリミドン	5.0~12.0 μg/mL	15.0 μg/mL以上	ALT(GPT)	5~39 IU/L	1000以上
カルバマゼピン	4.0~10.0 μg/mL	12.0 μg/mL以上	LD(LDH)	120~260 IU/L	1000以上
バルプロ酸ナトリウム	50.0~100.0 μg/mL	150 μg/mL以上	アミラーゼ (AMY)	35~140 IU/L	1000以上
炭酸リチウム	0.4~1.0mEq/L	2.0mEq/L以上	クレアチンホスホ キナーゼ(CK)	M:40~220 IU/L F:30~190 IU/L	1000以上